

## 認知症に関する活動計画（概要）

当課は北海道作業療法士会地域部に統合され5年目を迎えた。当初から進めてきた広報事業としての「作業療法士が関与する認知症施策の実践事例集」も3巻の発行をもって一旦終了とし（配布は継続）、新たな事業への展開となる認知症カフェのコンサルタント事業の一環として、昨年度は認知症カフェの視察を行った。今年度は、新規立ち上げの認知症カフェの視察とノウハウの蓄積を目途に活動していく予定である。

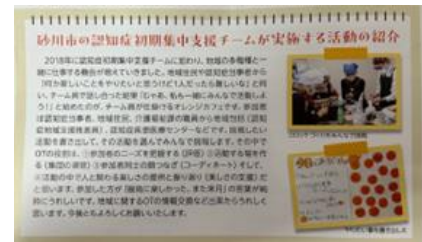
## 重点課題研修会の開催（人材育成）

「認知症の人への地域への関わりの実践」について、鳥取県介護予防日常生活支援総合事業支援員であり、作業療法士でもある藤田恵子氏を迎え、WEBにて開催した。研修内容は大変有意義であった一方、今後も、認知症の人への関わりが重要となる中、研修会の参加者が減少傾向にある点については、企画・運営を含めて、今後の検討課題となった（写真は：講師が実践する地域活動の様子）。



## 広報誌へのコラム掲載（チームオレンジ）

北海道作業療法士会は、道士会に所属する作業療法士に向けて2か月に1回の頻度で広報誌を発刊している。その中で地域部が主体となり、「北海道まるごとOT計画」コラムで各部員が自分たちの働く地域で携わる事業等を掲載している。今回は「OTもチームオレンジの一員になろう」と題し、発刊した。



## 認知症カフェの視察（新規事業）

当課新規事業の一環として、石狩市厚田区にある民間の認知症カフェに部員2名を派遣した。認知症地域支援推進会員や地域包括支援センター職員も交えて、認知症の方が店員となって地域住民の注文を取る中、休憩のタイミングやオーダーの確認などのサポートを行った。その他にミニ講話や新聞棒を用いての二重課題を実施し、多くのノウハウが吸収できた。



## RUN伴（ランとも）

全国で認知症を生きる本人や家族、医療関係者などと一緒にタスキをつなぎながら、顔の見えるつながりを作るまちづくりのイベント「RUN伴」。広大な北海道各地で行われており当課部員もメンバーとして参画している。「RUN=走る」だけではなく、本人が希望する歩く、応援する、想いを寄せるといふさまざまな形での参加を、作業療法士は人、作業、環境の視点で促進している。

（RUN伴公式HP：<https://runtomo.org/>）

